

県南地域感染症情報

～県南地域感染制御ネットワーク支援事業～

臨時第20号

平成24年2月9日

(インフルエンザ情報) 福島県県南保健所

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等につきましてはFAX及びメールにて返信くださるようお願いいたします。メール返信の方は、右下の「感染症情報連携シート」をクリックして記載願います。

県南保健所生活衛生部医療薬事課 FAX0248-23-1252

メールアドレス kansen_kennan@pref.fukushima.jp

感染症情報連携シート

警報レベル

昨年の2倍以上の流行!!



○第3週（1月16日～1月22日）から警報レベルとなりましたが、第5週（1月30日～2月5日）では、昨年（第3週で33.6でピーク）を上回る87.7となりました。国、県を大きく上回っています。

○白河市内の定点医療機関の報告数が、第5週から引き続き急増しております。

○インフルエンザ迅速診断キット測定結果は、A型が85.5%、B型が14.5%でした。第4週と変わらず、B型の流行も始まりつつあるようです。

○咳エチケット、手洗い等の手指衛生の徹底が重要です。

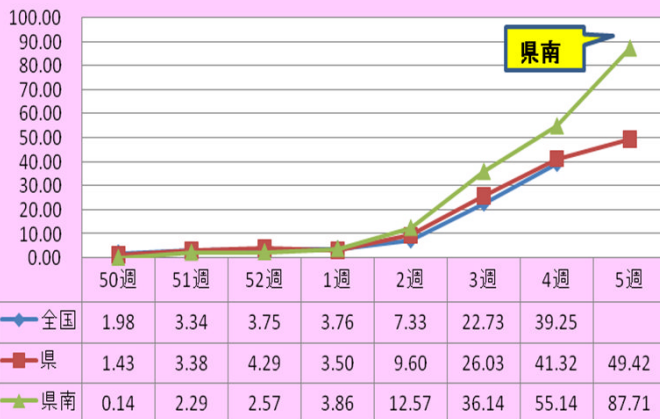
～それぞれ感染拡大防止に注意してください～

県南地域の学校等のインフルエンザ欠席状況 (2月8日現在)

- 白河市内の幼稚園2か所が学級閉鎖、小学校3校で学級閉鎖、3校で学年閉鎖、中学校2校で学級閉鎖となりました。
- 西郷村の小学校1校で学年閉鎖がありました。

※地域により流行に差があるようですが、定点医療機関からの報告では、5～14歳にかけての発生が多くなっています。多数の小中学校で流行が拡大していることがうかがわれます。

定点1医療機関あたりの報告数



★県南地域の定点医療機関は、7か所です。★

○定点1医療機関あたりの報告数とは、県南地域の定点医療機関を受診した患者数を定点医療機関数で除したものです。一週間に1つの医療機関からどのくらいの報告があったかを示す数値です。

1以上：流行開始、10以上：注意報レベル、30以上：警報レベル

咳エチケット！ もう一度、確認しよう！！

- 症状のある方はマスクをすること。
- 咳をする時は、ティッシュで口と鼻を被い、他の人から顔をそむけ、できる限り1～2m以上離れること。
- ティッシュがない場合は、口を袖口で押さえて極力、飛沫が拡散しないようにすること。
- 咳やくしゃみをする際に押さえた手は、その後、直ちに洗うこと。
- 手を洗う前に不必要に周囲に触れないように注意すること。
- 使用したティッシュは、直ちに蓋のあるゴミ箱に捨てること。
- 咳をしている人には、マスクの着用を積極的に促すこと。

病院・高齢者福祉施設等の方へ

- 今期のインフルエンザの主な流行は、小児ですが、流行の拡大にしたがって高齢者の発生も増えてきています。
- 病院、施設や福祉サービスを利用している入院患者や入所者等にインフルエンザ様症状の方が見られた場合は、早めに保健所にお知らせください。

県南保健福祉事務所ホームページ

www.pref.fukushima.jp/kennanhofuku